

令和5年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立青嵐中学校	校長名	古 家 新 一
-----	------------	-----	---------

教育理念及び教育目標

半世紀以上に及ぶ伝統と時代の要請に鑑み、以下の教育目標と校訓を定める。

○教育目標

社会人としての資質を養い、心身の調和のとれた人間に育てる。

- 1 豊かな創造性を育てる。 (創造)
- 2 人を尊重し、物を大切にする心を養う。 (貢献)
- 3 目的に向かって努力する意志を培う。 (挑戦)

○校訓

[自 治] 1 考える 2 思いやる 3 やりぬく

学校の特徴

- 1 伝統の継承と、自主・自立の精神
 - (1) 「運動会」「文化発表会」「合唱コンクール」等伝統行事の適切な実施。
 - (2) 本校への強い「愛着」と「誇り」に基づいた生徒の主体的な行事運営による自尊感情の醸成。
- 2 研究に基づいた教育への取り組み
 - (1) 「教えて考えさせる授業」に基づく授業改善を図り、指導と評価の一体化により信頼される評価を行い、学力の向上につなげていく。(都：授業改善推進拠点校)
 - (2) 共通理解に基づく、生徒育成の推進。(MLA・SWPBS、hyper-QUの実施)
 - (3) 学力向上の取組を充実させるGIGAスクール構想を着実に実行する。
- 3 特別支援教育の充実
特別支援学級(IJ学級)を併設。個に応じた教育の充実を図り、IJ学級と通常の学級の交流活動を推進する。
- 4 指導方法の改善
「教えて考える授業(OKJ)」を推進し、授業研究・授業改善を実施する。
タブレット端末を効果的に活用した授業改善及び英語少人数授業を展開する。
- 5 充実した施設・設備を維持する。
- 6 地域連帯感の高まり
 - (1) 地域と一体となった教育を推進する。
 - (2) ボランティア活動を含めた地域交流を推進する。

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

教職員・生徒一体となって、「温か、明るい青嵐中」を創造する。

- 1 学校像 温かく活気に溢れる学校(「ありがとう」が溢れる学校)
生徒、教職員の個性を生かす学校
- 2 生徒像 自ら学び、自らを治める生徒
自己実現に向けて挑戦し、やりぬく生徒
自発性と主体性に取り組む生徒(「一生懸命がかっこいい」)
- 3 教師像 生徒に寄り添い、挑戦を支援する教職員
自ら学び、生徒と共に歩む教職員
「西東京あったか先生」を目指す教職員

学校経営の目標

- 1 中期経営目標（中間的課題）
 - (1) 確かな学力の向上（GIGA スクール構想におけるタブレット端末の活用）
 - (2) 豊かな心の育成（「西東京あったか先生」の育成）
 - (3) 健やかな体の育成
 - (4) 特色ある教育活動
（特別な教科 道徳、総合的な学習の時間、家庭や地域連携の強化、特別支援教育等）
- 2 短期経営目標（1）に基づく本年度の重点目標
 - (1) 授業力の向上に努め、意欲・基礎学力・活用力を高める工夫ある授業実践を行う。家庭学習を励行し、自ら学ぶ姿勢と習慣を身に付けさせる。（タブレットの活用）
 - (2) 道徳科の授業を通し、思いやり溢れる、温かな学校づくりを推進する。生徒の自治意識を高める指導をおこない、規範意識を向上させるとともに達成感を味わわせ自尊感情を醸成させる。
 - (3) 組織的な生徒指導体制を確立し、生徒に主体的・自発的に活動させ、やりぬく力を育成する。部活動の参加を推進させ、心身ともに健やかな成長を図る。
 - (4) 総合的な学習の時間の核として、各行事との関連性やオリンピック・パラリンピック教育のレガシーを継承し、特別な教科 道徳等との関連性を図り、思考力、判断力、表現力を身に付けさせるとともに、豊かな心の育成を推進する。
更に、特別支援教育の充実を図り、生徒一人一人が自己の能力や特性を理解し、情緒の安定を図り、自立した社会生活を営むことのできるような技能、習慣、態度を育てる。（固定制学級の教育活動の充実を含む）
また、家庭や地域社会・関係機関との連携を深め、生徒自身が地域社会の一員であることを意識させ、地域へ貢献していく。

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- 1 確かな学力の向上
 - ・「新学習指導要領」に準拠し、「教えて考える授業」を推進して教科の力を伸ばす授業をテーマに、全教員による研究授業を実施する。（学ぶ意欲、活用力）
 - ・放課後補習の拡充と地域人材を活用した放課後補習体制拡充。（学ぶ意欲・基礎学力）
 - ・授業でタブレット端末を活用したり、家庭学習用の課題をタブレットで行ったりするなど、主体的に学ぶ態度を養い、学習習慣の確立を図る。（学ぶ意欲・基礎学力）
 - ・東京都教育委員会授業改善推進拠点校として、生徒一人一人の学習の成立を促す評価を重視し、教師自らが指導のねらいに応じて授業の中での生徒の学びの振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルを確立し指導と評価の一体化を図る。
- 2 豊かな心の育成（いじめ・虐待未然防止を含む）
 - ・青嵐言の葉大賞の取組を通して、情緒的共感力を育成する。
 - ・MLA（包括的生徒指導）の手法や hyper-QU の結果を用いて、お互いに学び合い、助け合う集団づくりを行う。
 - ・「共通理解、共通実践」「当たり前のことを当たり前に」「報一連一相一確」の徹底などの意識改革を前提とした年五回の面談・アンケート実施や各校内委員会を整備する。
 - ・特別な配慮が必要な生徒の支援や合理的配慮、交流活動等を通して、情緒の安定を図り他者と協調して思いやる心、感動する心など、豊かな人間性を育成する。
 - ・「西東京あったか先生」を目指す教職員になるよう意識改革を行う。
- 3 健やかな体の育成
 - ・青嵐サーキットによる基礎体力の向上を図る。
 - ・保護者や外部指導員の協力を得て、指導者・生徒・保護者一丸となり部活動を活性化。
- 4 特色ある教育活動
 - ・教科、特別活動等で、振り返り（含発表）まで行うことで、思考・判断・表現力を育成するとともに、達成感や自己有用感を味わわせ、自尊感情を醸成する。
 - ・日常の観察、ミニ面談、hyper-QU を実施し、生徒の心に寄り添う指導を重視する。
 - ・特別支援専門員を活用した L 教室の指導等、特別支援教育を充実させる。
 - ・地域行事参加（校外行事への部活動の参加、市主催行事への参加、地域主催行事への参加）の積極的な推進を図る。